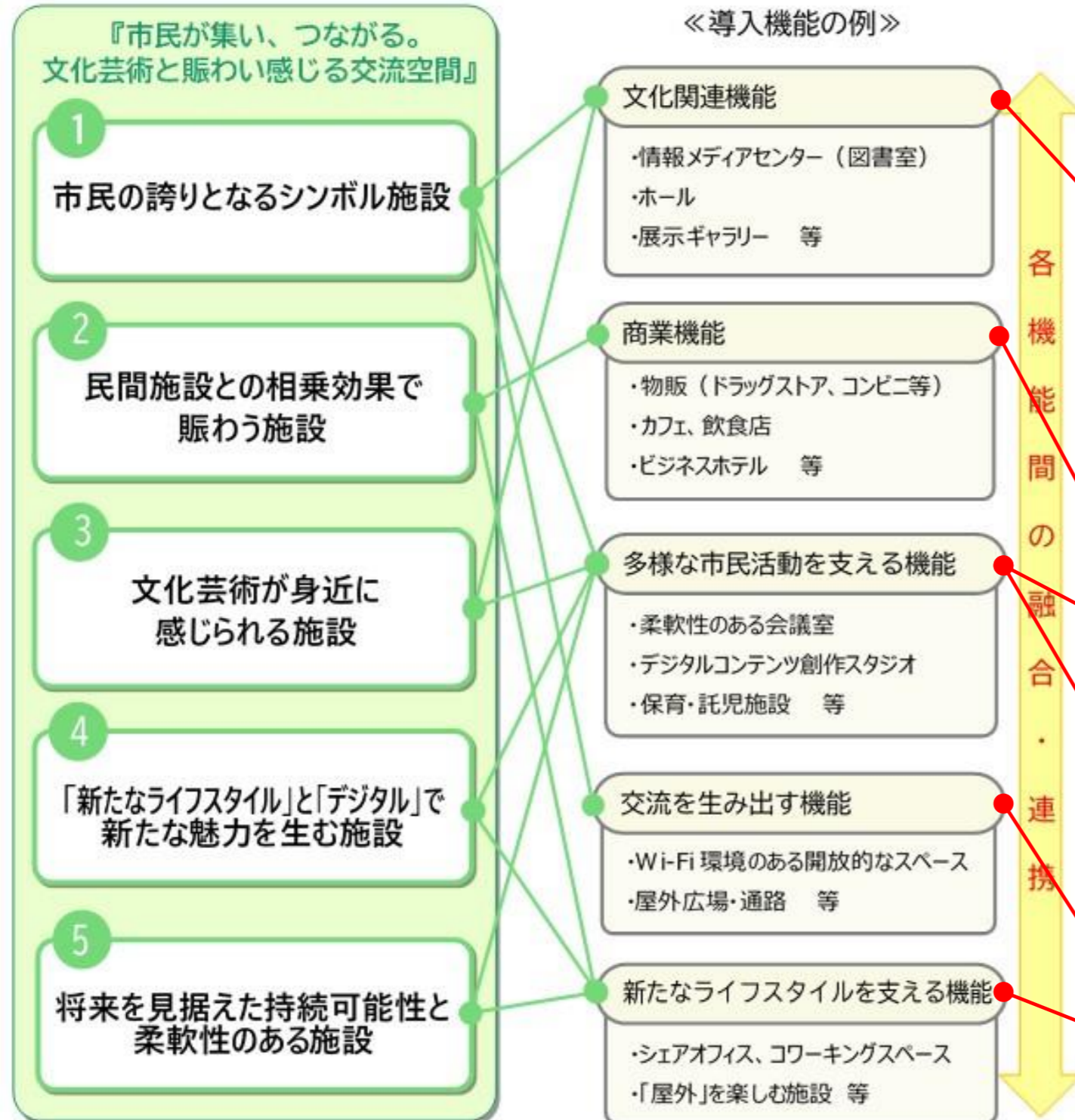


基本計画策定にあたっての導入機能の考え方

基本構想（導入イメージ）



サウンディング型市場調査を踏まえた整理

1 公共機能として市が整備（必須機能）

- ① ホール
 

市民の多様な文化芸術活動を支えるとともに、駅前の立地を活かしたイベントや展示会等での利用を想定し、概ね300席程度の規模で、可動式の座席やステージといった柔軟な設備を持った施設とします。また、動画撮影やオンライン配信などに対応できるように、映像や音響設備についてデジタル技術の活用を図ります。
- ② 情報メディアセンター（図書室）
 

子どもから高齢者まで誰もが気軽に立ち寄り、ICTメディアリテラシー（※）などを学ぶことができる施設を想定し、従来の図書室とは異なる、電子書籍やテーマを絞った蔵書、インターネットやスマートフォン利用に加え、これらの学びをサポートする市民の利便性と満足度の向上につながる施設とします。
- ③ 展示ギャラリー
 

市内で創作活動を展開する個人や団体・サークルなどによる展覧会や企画展の開催等を想定し、展示ギャラリーを整備します。なお、ホールのホワイエ機能との融合や民間機能との連携などにより、利用者の交流を生む開放的な空間とします。

2 民間機能として民間事業者が整備

ただし、公共機能との融合・連携の提案を求める。

3 民間機能の提案の範囲とする機能（提案の無い場合は、公共機能として市が整備（必須機能））

- ① スタジオ・会議室
 

ホールや展示ギャラリーの利用につながる文化芸術活動団体やサークルによる練習、会合、創作活動等、また地域コミュニティでの利用を想定し、スタジオや会議室として利用できる場所を整備します。

4 民間機能の提案の範囲とする機能

ただし、民間機能の提案が出来ない場合には、「交流」と「新たなライフスタイル」の要素を上記1又は3に含めるなど、公共機能としての提案を求める。